熊本県博物館情報誌

Muse ミューズ kumamoto

2022-2023
Vol. 6
春・夏

阿蘇溶結凝灰岩
（阿蘇火山博物館所蔵）
２ページに記事あり

石ころ？

博物館のコレクションです。

見どころ紹介：坂本善三美術館 / 不知火美術館・図書館 / 御船町恐竜博物館
コレクション紹介：阿蘇火山博物館
博物館のお仕事：熊本大学五高記念館
博物館紹介：リデル、ライト両女史記念館 / 東海大学松前重義記念館

※新型コロナウイルスによる休館の可能性があります。ホームページで確認してください。

見どころ紹介

MIDOKORO SHO-KAI

坂本善三美術館

期間：2022年9月17日（土）～12月11日（日）
月曜日休館　入館料 一般500円、高大生400円、小中学生200円

コレクションリーディング「Over50で楽しむ善三展」

坂本善三美術館では、異ジャンルのゲストとともに収蔵品を再解釈する展覧会シリーズ「コレクション・リーディング」を2016年から続けています。第6回目となる今年は、小国町の医療・福祉分野と連携し、50歳以上（Over50(オーバー　フィフティ)）の皆さんの多彩な活動を、坂本善三の50代以上の作品とともに紹介します。町内の高齢者の表現・制作活動を調査したところ、手芸や木工などのほか、草刈り、野菜作り、料理など、「表現」と呼ばずにはいられないようなこだわりの活動がたくさん潜んでいることがわかりました。これまで「趣味」としてひとくくりにされていたそれらの活動を、作品だけでなくそれを生み出す生活とともに「人生の表現」として紹介します。

風土

不知火美術館・図書館

期間:2022年4月3日（日）～6月4日（土） 9:00～18:00 土曜日は21:00まで
会期中は無休　入館料 大人300円、高大生200円、中学生以下無料

リニューアルオープン記念展 KOSUGE1-16《未完星 [mikən-sei]》

リニューアルオープン記念展では、生活とアートを結びつけるプロジェクトを各地で行うアーティスト　KOSUGE1-16を迎え、体験型作品と公募型アートプロジェクトからなる展覧会《未完星 [mikən-sei]》を開催します。

展示室には、巨大サッカーゲーム作品が登場。宇城の風景が盤上に展開するオリジナルバージョンです。実際に遊ぶことができ、遊びの中の創造性を引き出していきます。

もう一つ、誰もが家の片隅に眠らせている、作りかけのもの（未完）の現物や、写真とエピソードをパネルで紹介します。作ろうと思った日のこと、まだ完成していない理由には、喜びや葛藤、思いがけないドラマがあふれ、時には勇気を与えてくれます。

「未完成の状態が一番楽しい」と語るKOSUGE1-16は、手から何かを生み出す喜びそのものに光を当て、美術館の表現の射程を広げていきます。

撮影：大谷健二

御船町恐竜博物館

期間：2022年3月19日（土）～5月29日（日）
原則として毎週月曜日休館（春休みとゴールデンウィークは臨時開館あり）。
無料（但し常設展の観覧料が必要）　9:00～17:00

2022年御船町恐竜博物館春期企画展「きょうりゅうってなんだろう」

恐竜は中生代に繁栄し、鳥類へのダイナミックな進化を遂げた生物として知られています。その巨大さや奇妙な形は、多くの人々を惹きつけ、子どもたちの知的好奇心を育む絶好の教材にもなっています。

知的好奇心、それは、たくさんの情報を集めたり、ひとつのことを深く探究したりする行動の原動力となるもの。科学の分野だけでなく、多くの課題や困難に直面する現代社会において必要とされ、幼児期から育むことが大切だとも言われています。

この企画展では、恐竜が生きた時代の地球環境、恐竜の進化や生態に関する資料等を可能な限り易しく展示し、子どもたちの知的好奇心を刺激するプログラムを提供いたします。ぜひご来場いただき、恐竜たちと一緒に好奇心の種を蒔いていただければ幸いです。

コレクション

阿蘇溶結凝灰岩

熊本県のシンボル阿蘇火山は、世界最大級のカルデラが存在することが大きな特徴です。通常の噴火によってできるくぼ地地形は「火口」と呼ばれ、おおむね直径は2km以下です。阿蘇のカルデラは直径が約20kmあり、このような地形は噴火に加え、陥没を伴うことによってつくられます。

陥没を起こす要因は、巨大噴火によって大量のマグマを火砕流として一気に噴出するため、地下のマグマだまりが空洞になるためです。

火砕流はマグマが発泡し、火山灰や軽石、火山ガスなどが高速で周囲に流れ出るものです。それが、数m～数十mの厚さで堆積し高温と自重によってカチンとした岩石になったものが「溶結凝灰岩」です。軽石などが押しつぶされて黒いレンズ状の構造を示すのがこの岩石の特徴で、阿蘇カルデラの四方に大量に分布しています。とくに阿蘇の南側では、通潤橋をはじめとする緑川沿いの石橋の石材として使われています。

この岩石は日本地質学会によって、「熊本県の岩石」に選定されてます。

施設紹介　阿蘇火山博物館

所在地　熊本県阿蘇市赤水1930-1
TEL　0967-34-2111
開館時間　09:00～17:00
休館日　原則としてなし（年中無休）
入場料　大人 880円、小学生 440円（その他団体料金等もあり）

昭和57（1982）年に開設、平成16年（2004）年に財団法人化、平成25（2013）年から公益財団法人として運営。火山と人との関りを主なテーマとし、館内では自然や歴史・民俗などに関して展示。とくに現在も活動中の中岳火口に設置した火口カメラによる火口のライブ映像は研究、教育、防災、観光などに大きな役割を果たしている。そのほか、修学旅行や地域の学校と連携しながら、環境教育、防災教育にも力を入れている。1Fフロアには環境省による阿蘇山上ビジターセンターを併設。

博物館のお仕事

地震からの復興

「平成28年熊本地震」により五高記念館は大きな被害を受けました。外観からは解りませんが煉瓦造の本体には幾つもの亀裂が走り、痛ましい状況でした。

この建物は完成間近の明治22年（1889）7月に発生した熊本地震にも遭遇しています。その際、何の被害も受けなかったことから西洋の建築は地震に強いと評判になったそうです。

今回の前震、本震と合わせれば3回の大きな地震に耐えてきたことになります。さすがに今回は大きな補修工事が必要となり、平成30年（2018）3月末から復旧工事に着手しました。本館と化学実験場、表門（赤門）に加え、工学部研究資料館（旧熊本高等工業学校機械実験工場）という4棟の重要文化財を同時に復旧するという大がかりな工事が進められ、表門、化学実験場、本館、工学部研究資料館の順に工事を完了しました。

工事を進める中で、本館に残されていた明治時代の黒板や階段教室の痕跡、工学部研究資料館に設置されていたボイラーの煙道などが発見されました。旧制の学校から熊本大学に引き継がれた建物は時代の流れの中で姿を変えていたのです。ひっそりと残されてきたこれらの痕跡は、旧制の高等教育の姿を伝える生きた展示資料となってくれるに違いありません。資料館としての展示の復旧はまだこれからですが、発見されたものを活かしながら、明治以来の高等教育の姿を伝え続ける資料館としていきたいと考えています。

▲復旧工事中に発見された昔の黒板の痕跡

施設紹介　熊本大学五高記念館

所在地　熊本市中央区黒髪2丁目40-1 熊本大学内
TEL　096-342-2050
開館時間　10:00～16:00
休館日　火曜日　その他に年末年始や入試実施期間など大学の都合による休館日があります。
入館料　無料

熊本大学五高記念館は、現在の熊本大学黒髪キャンパスの場所に、昭和25年（1950）まで存在した旧制第五高等学校の建物を活用し、第五高等学校の歴史を展示する資料館です。

旧制第五高等学校の本館と化学実験場、表門（通称赤門）が残されており、昭和44年（1969）に国の重要文化財に指定されました。貴重な建物と共に明治期の高等教育の姿を伝える多くの資料をご覧いただける全国的にも珍しい資料館です。

リデル、ライト両女史記念館

本館の概要

明治28年（1895年）に英国の宣教師ハンナ・リデル、グレイス・ノット、エダ・ライトの3人が、熊本回春病院という私立のハンセン病病院を開設しました。

その旧熊本回春病院跡地に残る唯一の建物が、大正8年（1919）に作られた元ハンセン病研究所です。

この建物は、現在リデル、ライト両女史記念館となっており、熊本回春病院とその設立や運営に携わった3人の功績を紹介するために、特別企画展など様々な活動を行っています。

また、リデル、ライト両女史記念館の建物は当時の建築界の第一人者中條精一郎が設計を手掛けたものであり、2008年には国の有形文化財に登録されています。

現在のリデル、ライト両女史記念館

常設展示

2016年の熊本地震により、リデル、ライト両女史記念館も被害を受け、臨時休館を余儀なくされていましたが2020年に改修工事が終わり5月21日から一般公開を再開しました。

常設展示では改修工事により分かった新たな歴史、そしてグレイズ・ノットの歴史を追加し、熊本回春病院の資料、リデル、ノット、ライトの3人の写真や遺品、書簡などを展示しています。

美しき二人
ハンナ・リデル（右）とエダ・ライト（左）

おすすめ　収蔵品

大隈重信のリデル宛書簡をはじめとして、ハンセン病史における重要な多くの資料を収蔵・展示しています。

初期の熊本回春病院（明治28年頃）

今後の予定

2022年度の特別企画展はハンナ・リデル没後90年記念『日時計と句集「日時計」展』を予定しています。熊本回春病院のシンボルであったユーカリや日時計のなかで生活した人々の短歌や俳句などから、国の隔離政策の下で故郷に残してきた親、妻や子のことを片時も忘れずに詠んだ短歌や俳句から当時の人々の心の記録を紹介します。

ユーカリと日時計

リデル、ライト両女史記念館
〒860-0862 熊本市中央区黒髪５丁目２３－１
TEL/FAX 096-345-6986
開館時間　9:30～16:30
休 館 日　月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始
入 館 料　無料

松前重義記念館

概要・特徴

嘉島町に生まれ育った故松前重義（1901年～1991年）は東海大学の創立者。記念館は科学者、教育者、政治家、国際交流と多方面で活躍した松前の思想、業績を紹介するとともに、施設を町民に開放し、生涯教育の場として活用してもらうことを目的に1988年4月開館しました。1階は柔道場、剣道場、ホール、2階には少年時代からの歩みを綴った写真やパネル、ゆかりの品が展示されています。

記念館となりの生家は明治10年の西南戦争後に建てられたもので、細川藩武家屋敷づくりの文化財的建物。

少年時代を過ごした勉強部屋や廊下壁には松前の小学生時代の落書きも残されています。

松前重義記念館全景

練習に励む松前柔道塾生たち

松前重義氏の生家

おすすめの収蔵品

東海大学建学の精神を書いた額

東海大学の前身となる「望星学塾」（東京・武蔵野市）を開設するとき、松前は次の4つの言葉を掲げました。「若き日に汝の思想を培え　若き日に汝の体躯を養え　若き日に汝の智能を磨け　若き日に汝の希望を星に繋げ」。松前は身体を鍛え、知能を磨くとともに人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人一人が人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。これが東海大学建学の精神です。

東海大学建学の精神を書いた額

常設展示

展示室には松前の歩みが「生い立ち」「教育者」「科学技術者」「国際人」の4つのテーマに分け40枚を超すパネルや写真で紹介されているほか、嘉島町から贈られた名誉町民盾（1984年）、功績に対する世界各国からの勲章（写真）などが展示されています。長崎県出身で昭和を代表する彫刻家・北村西望（長崎平和祈念像の作者）による松前の胸像もあります。

展示パネルを見る大学生

今後の予定

常設展のほかに、夏休みの期間中、主に嘉島町の小学生を対象として実施している「昆虫採集と標本の作り方教室」「小舟に乗って矢形川で遊ぼう」（昨年、一昨年はコロナで中止）を計画中。また松前の思想、業績を多くの人に知ってもらうため、同氏の著作物や活動を記録したビデオ（ビデオ）を町民に無料で貸し出す制度を始めます。

松前重義記念館
〒861-3106 熊本県上益城郡嘉島町大字上島字蔵園2571-1-3
TEL 096-237-1151　FAX 096-237-1079
開館時間　9：00～17：00（最終入館16：30）
休 館 日　月曜日、祝日、年末年始
入 館 料　無料

展示イベント・情報（2022年4月～9月）

※掲載している情報は発行時点のものです。最新の情報は各館のホームページでご確認ください。

県央

展示　イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月

① 熊本県立美術館（本館）

熊本市中央区二の丸２番地
☎096-352-2111
開館時間/ 9:30～17:15
休 館 日/ 月曜日（祝日の場合は翌平日）
観 覧 料/ ◆本館２階展示室
一般280円、大学生170円
◆別棟展示室
一般210円、大学生130円
◆別棟展示室の共通券
一般430円、大学生260円
※高校生以下および障がい者手帳をお持ちの方は無料
※特別展観覧料は展示会毎に異なります

- 美術館コレクション 3/19～6/12 **水・緑・花　くまもとの風景と自然の恵み**（一般 280円 / 大学生 170円）
- 細川コレクション 4/8～6/26 **黒の魅力 期間限定公開！菱田春草《黒き猫》**（一般 210円 / 大学生 130円）
- 熊本日日新聞社創立８０周年記念 4/15～6/5 **印象派との出会い** ―ひろしま美術館コレクション（一般 1,300円 / 大学生 1,000円）
- 美術館コレクション 6/17～6/26 **美術家連盟５０周年記念展**（一般 280円 / 大学生 170円）
- 美術館コレクション 7/15～10/2 **再発見！ジモトアート** ―人でつながる熊本の美術（一般 280円 / 大学生 170円）
- 細川コレクション 7/15～9/25 **細川家の歴史と美(第１部)**（一般 210円 / 大学生 130円）
- **美の旅　西洋美術４００年** 7/16～9/4 ―珠玉の東京富士美術館コレクション（未定 会期が近づきましたら当館HPをご覧ください。）
- ミュージアムセミナー 14:00～15:00 無料 4/30
- ミュージアムセミナー 14:00～15:00 無料 5/21
- おしゃべり鑑賞タイム 10:00～13:00 要観覧料 5/1
- ミュージアムセミナー 14:00～15:00 無料 8/20
- おしゃべり鑑賞タイム 10:00～13:00 要観覧料 7/31 8/14
- おわったアートのポスターさしあげます 2022 10:00～16:00 無料 8/28

② 熊本市現代美術館

熊本市中央区上通町 2-3
びぷれす熊日会館３階
☎096-278-7500
開館時間/ 10:00～20:00
休 館 日/ 毎週火曜日（祝日の場合は翌平日）
入 館 料/ 無料
※有料の企画展のみ観覧料が必要

- 塔本シスコ展 **シスコ・パラダイス かかずにはいられない！人生絵日記** 2/5～4/10（有料）
- **和田誠展** 4/23～6/19（有料）
- 熊本市現代美術館開館20周年記念 **不思議の森に棲む服　ひびのこづえ×KUMAMOTO　展** 7/2～9/19（有料）
- アーティストトーク **ひびのこづえ** 7/2 15:00～16:00 要入場券

③ くまもと文学・歴史館

熊本市中央区出水２丁目５番１号
☎096-384-5000
開館時間/ 9:30～17:15
休 館 日/ 火曜日（祝日の場合は翌平日）
毎月最終金曜日（4月は22日閉館29日開館）
特別整理期間（12月13日～20日）
年末年始（12月28日～1月3日）
入 館 料/ 無料

- 特別展 **湧水と生きる**―江津湖の歴史と文学― 3/17～5/23（無料）
- 収蔵品展 **アーカイブズに見るくまもと19** 6/10～7/18（無料）
- 企画展 **松本唯一と松本文庫** ―カルデラに魅せられ、書物を愛した学者― 8/5～9/26（無料）

県央

展示　イベント

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月

④ 熊本県伝統工芸館

熊本市中央区千葉城町 3-35
☎096-324-4930
開館時間/ 9:30～17:30
休 館 日/ 毎週月曜日
（祝日の場合は翌日）
入 館 料/ 無料（企画展のみ観覧料 210 円）

- **花を飾る器展** 3/18～5/5（一般 210円 / 大学生 130円 / 高校生以下無料）
- **華道展** 5/13～5/15・5/20～5/22（一般 210円 / 大学生 130円 / 高校生以下無料）
- 第50回伝統工芸 **日本金工展 in熊本** 6/18～7/18（一般 210円 / 大学生 130円 / 高校生以下無料）
- 熊本県伝統工芸館開館40周年記念企画展 消費者をやめて愛用者になろう **「くまもとのいいモノ ほしいモノ」** 8/2～10/10（一般 210円 / 大学生 130円 / 高校生以下無料）

⑤ 熊本博物館

熊本市中央区古京町 3-2
☎096-324-3500
開館時間/ 9:00～17:00（入館は16:30まで）
休 館 日/ 毎週月曜日（祝日の場合はその次の平日）
入 場 料/ 一般400円、高校・大学生300円、小中学生200円

- 館蔵品展 **「くまはくコレクション　肥後のやきもの」** 3/12～5/8（入場料のみ）
- 創立70周年記念 夏季特別展 **「（仮）世界の翼竜展」** 7/16～9/4（未定 特別展観覧料）
- **通年イベント　子ども科学・ものづくり教室**
  毎月２～３回実施しますが、コロナ対策のためすべて「事前申込・定員制（の予定）」です。

⑥ 新聞博物館

熊本市中央区世安一丁目５番１号
☎096-361-3071
開館時間/ 10:00 ～ 17:00
休 館 日/ 日曜・祝日・年末年始
入 館 料/ 無料

- **写真展「9人の写真家が見た水俣」** 4/27～6/10（無料）

⑦ 肥後の里山ギャラリー

熊本市中央区練兵町１番地
肥後銀行本店１階
☎096-326-7800
開館時間/ 9:30～16:30
休 館 日/ 日曜日・祝日・年末年始
入 館 料/ 無料

- 熊本の水と緑展Ⅵ **湧水潤う水辺 水前寺・江津湖 ―水が育む風景と歴史遺産―** 3/19～5/7（無料）
- 熊本の宝を未来へつなぐ **再現模写の世界** 熊本藩御座敷船　波奈之丸舟屋形天井画 5/11～7/2（無料）
- 天草から恐竜がやってきた サテライトミュージアム **御所浦白亜紀資料館展** 8/1～10/1（無料）

⑧ 島田美術館

熊本市西区島崎 4-5-28
☎096-352-4597
開館時間/ 10:00～17:00
休 館 日/ 火曜定休、第２・３水曜日
展示替え期間
入 館 料/ 一般 700 円、大高校生 400 円
小中学生 200 円

- **四季折々** 3/2～6/13（一般700円 / 大高生400円 / 小中生200円）
- 4/16 10:30～12:00 無料 「四季折々」関連イベント **創作キットで俳句を作ろう**
- **鎌倉の人々(仮称)** 7/1～9/25（一般700円 / 大高生400円 / 小中生200円）

展示イベント・情報（2022年4月〜9月）

※掲載している情報は発行時点のものです。最新の情報は各館のホームページでご確認ください。

県央

展示　イベント

⑨ 熊本市 塚原歴史民俗資料館

熊本市南区城南町塚原 1924 番地
☎0964-28-5962
開館時間/ 9:00〜16:30
休 館 日/ 月曜日（祝日の場合は翌日）
入 館 料/ 大人200円、小中学生100円
※団体30名以上　大人160円
小中学生80円

- 4/3 学芸員と歩く野外博物館　入館料
- 4/24 土器づくり教室（春）　入館料
- 5/29 押し花缶バッジを作ろう　入館料
- 6/26 藍染体験教室（生葉染め）　入館料
- 夏だわくわく古代体験教室 7/24 勾玉づくり　入館料
- 夏だわくわく古代体験教室 7/31 オリジナル埴輪づくり　入館料
- 夏だわくわく古代体験教室 8/11 藍染体験（生葉染め）　入館料
- 9/23 藍染体験教室（乾燥葉染め）　入館料

⑩ 熊本国際民藝館

熊本市北区龍田 1-5-2
☎096-338-7504
開館時間/ 10:00〜16:00
休 館 日/ 月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）
4月・8月・12月
入 館 料/ 一般 400 円、 学生 300 円
小中学生無料

- 民藝 一用の美一 5/1〜7/31 その1　編むと組む　入館料
- 民藝 一用の美一 9/1〜11/30 その2　土の力　入館料

⑪ 不知火美術館・図書館

宇城市不知火町高良 2352
☎0964-32-6222
開館時間/ 展示室 9:00〜18:00
（土曜日のみ21:00まで）
アトリエ 9:00〜20:50
休 館 日/ 原則無休
展示入替え・メンテナンス日は休館
入 館 料/ 企画展によって異なります。

- リニューアルオープン記念展 4/3〜6/4 KOSUGE1-16《未完星[mikən-sei]》　大人300円 高大生200円 中学生以下無料
- 貸館展示 6/8〜6/12「宇城女性展」　無料
- 貸館展示 6/14〜6/19「第５回宇城退職校長会文化展」　無料
- 6/21〜6/26 美術館講座受講生アート展　無料
- 6/28〜7/3 貸館展示　「不知火書作展」　無料
- 貸館展示 7/12〜7/18「令和４年度第２０回宇城市特別支援学校合同作品展」　無料
- 貸館展示 7/26〜7/31「松井寛・千住みどり出版記念写真展　Pale ehco orange」　無料
- 企画展 8/11〜10/15 未定　未定

県央

展示　イベント

⑫ 熊本県博物館ネットワークセンター

宇城市松橋町豊福 1695
☎0964-34-3301
開館時間/ 9:00〜17:00
休 館 日/ 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
入 館 料/ 無料

- 3/21〜5/22 海辺の植物　無料
- 5/31〜7/31 昔のお金と今のお金　無料
- 5/31〜7/31 未定　無料

⑬ 御船町恐竜博物館

上益城郡御船町大字御船 995-6
☎096-282-4051
開館時間/ 9:00〜17:00
休 館 日/ 毎週月曜日
（祝日は開館し翌日以降に振替）
年末年始
入 館 料/ 大人500円

- 春期企画展 3/19〜5/29「きょうりゅうってなんだろう」　無料（但し常設展の観覧料が必要）
- わくわく体験教室　毎月１回開催（要申込・参加費）　時間：10:00〜16：00
  - 中生代のオーロラボックスづくり（4/23）
  - 恐竜缶バッジづくり（5/28）
  - 恐竜コースターづくり（6/25）
  - キラキラ石の万華鏡づくり（7/23）
  - 紙粘土でアンモナイトづくり（8/27）
  - 恐竜のしおりづくり（9/24）
- 7/17「パレオプログラム」要申込・参加費 パレオマイクロワールド
- 9/18 要申込・参加費「パレオプログラム」化石のレプリカづくり
- 5/3「ジオスクール」要申込・参加費 GW化石教室

県北

展示　イベント

⑭ 玉名市立 歴史博物館こころピア

玉名市岩崎 117
☎0968-74-3989
開館時間/ 9:00〜17:00（入館は16:30まで）
休 館 日/ 月曜日及び祝日の翌日
年末年始（12月28日〜1月4日）
入 館 料/ 一般300円、大学生200円
高校生以下無料
団体割引（20名以上）3割引

- 特集展示 5/28〜7/10「赤星亮衛展」　一般 300 円 大学生 200 円 高校生以下無料
- 企画展 7/23〜11/20「第10回　たまな発掘速報展」　一般 300 円 大学生 200 円 高校生以下無料
- 5/5 9:00〜16:00 体験学習「こどもの日たんけん！博物館」　無料
- 6/5 13:30〜15:00 催し物「第19回　ねむの木コンサート」　無料
- 体験学習「夏休みたんけん！博物館」 7/23 〜 8/28 9:00〜16:00　無料

⑮ 熊本県立装飾古墳館

山鹿市鹿央町岩原 3085 番地
☎0968-36-2151
開館時間/ 9:30〜17:15（入館は16:45）
休 館 日/ 月曜日（祝日の場合は翌日）
入 館 料/ 大人430円（300円）、大学生260円
（180円）、高校生以下無料
※（　）は20人以上団体料金

- 5/21〜6/12（予定）「写真で見る装飾古墳の世界」III　入館料
- 6/18〜9/11（予定）青銅器がもたらしたもの ～ムラからクニへ・古墳時代前夜～　入館料
- 7/20〜9/11（予定）平和への誓約展　入館料
- 9/17〜1/22（予定）「写真で見る装飾古墳の世界」IV　入館料

展示イベント・情報（2022年4月～9月）

※掲載している情報は発行時点のものです。最新の情報は各館のホームページでご確認ください。

県北

展示　イベント

⑯ 山鹿市立博物館
山鹿市鍋田 2085
☎0968-43-1145
開館時間/ 9:00 ～ 17:00（16:30 最終入館）
休 館 日/ 月曜日（祝日の場合は翌日）
入 館 料/ 大人270円、 高校生以下70円

- 7月～9月　企画展「菊池川展」　入館料

⑰ 合志市歴史資料館
合志市福原 2922 番地
☎096-248-5555
開館時間/ 9:00～16:30
休 館 日/◆月曜日（月曜日が祝日の場合、その日後において最も近い平日）
◆12月28日から翌年1月4日まで
◆ 館内整理日（毎月末日。 休館日の場合はその翌日）
入 館 料/ 無料

- 4/1～9/30　企画展　「原田茂が遺したもの」　無料
- 通年イベント　子ども歴史科学体験教室　毎月1回開催　対象：合志市内小学生　要申し込み、要参加費

⑱ 坂本善三美術館
阿蘇郡小国町黒渕 2877
☎0967-46-5732
開館時間/ 9:00～17:00
休 館 日/ 月曜日（祝日の場合は翌日）
入 館 料/ 一般500円、高・大400円
小・中200円

- 動きと形 ～絵に見る画家の身体～　3/19～6/12　有料
- 絵と語り合う －作品解説とともに－　6/18～9/11　有料
- コレクション・リーディングvol.6 Over50で楽しむ善三展　9/17～12/11　有料

県南

展示　イベント

⑲ 八代市立博物館 未来の森ミュージアム
八代市西松江城町 12-35
☎0965-34-5555
開館時間/ 9:00～17:00（入館は16：30まで）
休 館 日/ 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始、 その他臨時休館
入 館 料/ 一般310円（240円）
高大生200円（160円）

- 企画展　博物館でお花見を～美術の中の桜～　3/8～4/17　常設展料金 一般310円（240円） 高大生200円（160円）
- 令和４年度春季特別展覧会　こわいもの大集合！～妖怪・幽霊・鬼・地獄～　4/22～6/5　特別展料金 一般700円（560円） 高大生500円（400円）
- 企画展　松井文庫Ⅰ　茶の湯の世界～松井家の茶道具名品選～　6/7～8/21　常設展料金 一般310円（240円） 高大生200円（160円）
- 令和4年度　夏季特別展覧会　好きな絵さがそう！～美術鑑賞入門展～（仮称）　7/15～8/28　特別展料金 一般400円（320円） 高大生300円（240円）
- 企画展　松井文庫Ⅱ　お姫様の婚礼道具　8/23～10/16　常設展料金 一般310円（240円） 高大生200円（160円）

県南

展示　イベント

⑳ 松井文庫驥斎
八代市北の丸町 3-15
☎0965-33-0171
開館時間/ 9:00～17:00（入館は16：30まで）
休 館 日/ 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
お盆、年末年始
入 館 料/ 500円
中学生以下250円

- 企画展　驥斎展示室：松井家の殿様（歴代当主肖像画パネル展示）　第二展示室：くらしを彩る器　4月中頃～7月末　一般500円 中学生以下250円
- 企画展　驥斎展示室：仙盞瓶／ガラスの器　第二展示室：青花の器　7月末～9月末　一般500円 中学生以下250円
- 企画展　驥斎展示室：文房具と香炉　第二展示室：煎茶の道具　9月末～1月末　一般500円 中学生以下250円

㉑ 芦北町立 星野富弘美術館
芦北町湯浦 1439-2
☎0966-86-1600
開館時間/ 9:00～17:00
休 館 日/ 第２・４月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
入 館 料/ 一般500円、小中学生300円
幼児無料

- 第15回星野富弘美術館詩画公募展入賞作品展　3/15～4/24　一般500円 小中学生300円 幼児無料
- 季節の常設展「春・夏」　3/15～7/10　一般500円 小中学生300円 幼児無料

㉒ 山江村 歴史民俗資料館
球磨郡山江村大字山田甲 1360 番地
☎0966-23-3665
開館時間/ 10:00～17:00（入館は16：30まで）
休 館 日/ 毎週月曜日・祝日（企画展開催中は祝日も開館）
入 館 料/ 一般200円、団体150円（20名以上）、高校生以下無料

- 絵画展　4/26～5/29　一般 200 円 高校生以下無料
- 企画展「むかしの暮らし展」　7/5～8/28　一般 200 円 高校生以下無料

㉓ 天草キリシタン館
天草市船之尾町 19 番地 52 号
☎0969-22-3845
開館時間/ 8:30～17:00（入館は16：30まで）
休 館 日/ 火曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12/30～1/1）
入 館 料/ 大人 300 円、 高校生 200 円
小中生 150 円
天草市内の学校に通学する小中学生は無料

- 天草四郎陣中旗公開展示　5/1～5/7　有料
- パネル展　南蛮紀行：天正遣欧少年使節の足跡を訪ねて －ポルトガル、スペイン、イタリア－　7/20～8/29　有料
- 天草四郎陣中旗公開展示　8/1～8/7　有料

くまもとミュージアムMAP

[県　央]

1. 熊本県立美術館
2. 熊本市現代美術館
3. くまもと文学・歴史館
4. 熊本県伝統工芸館
5. 熊本博物館
6. 新聞博物館
7. 肥後の里山ギャラリー
8. 島田美術館
9. 熊本市塚原歴史民俗資料館
10. 熊本国際民藝館
11. 宇城市不知火美術館
12. 熊本県博物館ネットワークセンター
13. 御船町恐竜博物館

A. 熊本大学五高記念館
B. リデル、ライト両女史記念館
C. 東海大学松前重義記念館

[県　北]

14. 玉名市立歴史博物館こころピア
15. 熊本県立装飾古墳館
16. 山鹿市立博物館
17. 合志市歴史資料館
18. 坂本善三美術館

D. 阿蘇火山博物館

[県　南]

19. 八代市立博物館 未来の森ミュージアム
20. 松井文庫驥斎
21. 芦北町立星野富弘美術館
22. 山江村歴史民俗資料館
23. キリシタン館

発行／

熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524　熊本県宇城市松橋町豊福1695
TEL：0964-34-3301　FAX：0964-34-3302

○掲載事項は2022年3月時点で各館から提供された情報に基づいています。
○休館日は、掲載されたもの以外に、年末年始や展示替え期間などの休館があります。
○料金は、企画展、特別展が別料金の場合があります。
○その他、詳しくは各館のホームページ等をご参照ください。